

二〇一三年度

受賞作品集

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」






漢検



大切なあなたへ

「たった一文字」のプレゼント








「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」とは

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」は、“漢字がつなぐ絆”をテーマに、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じる契機とする、また大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的として開催いたしました。

(募集期間：2013年7月10日～10月21日)

全国から「小学生部門」には6,005作品、「中学生部門」には12,769作品、「高校生部門」には9,083作品、「一般部門」には1,185作品、総数29,042作品のご応募をいただきました。その中から、絆大賞(各部門につき1作品)、日本漢字能力検定協会賞(各部門につき1作品)、審査員特別賞(各部門につき3作品)、佳作(各部門につき20作品)、計100作品への授賞を決定いたしました。



審査員

審査員長

橋本 五郎（読売新聞特別編集委員）

審査員

池田 芳和（全国連合小学校長会顧問、東京福祉大学教授）

壺内 明（元全日本中学校長会会長、聖徳大学教授）

戸谷 賢司（独立行政法人大学入試センター参与、
全国高等学校長協会顧問、秀明大学教授）

高坂 節三（公益財団法人日本漢字能力検定協会代表理事）

※所属はコンテスト開催当時のものです。



発行にあたり

弊協会は、平成四年の財団設立以来、「日本漢字能力検定」（漢検）の実施運営を主な事業とし、漢字に関する書籍の発行や、漢字や漢字教育に関する研究支援、日本語・漢字に関する講演会や啓発イベントの開催等の事業活動を行ってまいりました。

そして、内閣府より公益財団法人の認定を受け、平成二十五年四月一日からは「公益財団法人日本漢字能力検定協会」として新たに発し、「すべての人の学びを支える」活動を進めております。

今後は、従来の事業活動をさらに発展させ、日本語・漢字に関する「普及啓発・支援活動」「調査・研究活動」「日本語能力育成活動」を三つの柱とし、社会生活に必要な日

本語・漢字の能力の向上と、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高める活動に邁進いたします。

さて、そうした活動の一環として昨年度より「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」を開催しております。これは、東日本大震災の年の「今年の漢字」に圧倒的な応募数で「絆」が選ばれたことを契機に、「漢字がちなぐ絆」をテーマとして、ご家庭や学校などで、家族や友人、知人など、大切な人への想いを込めて漢字を贈る機会を作ってはどうかとの職員の声から始まった企画です。ご応募いただいた作品は素晴らしい内容で、ほほえましい情景が溢れ出てくるものや素直な

想いが滲み出ているものが多く、また、表意文字としての漢字が持つ「奥深さ」や「面白さ」、ひいては「豊かさ」や「あたたかさ」を改めて認識することができました。

また、コンテストには、多くの学校に教育の一環として取り組んでいただきましたが、夏休みの課題としたり、国語の授業の中で発表し合ったり、文化祭で展示したりした結果、大変喜ばれたということが、先生方へのアンケートの回答にありました。

受賞作品には、国民一人ひとりの情緒・感性の基盤となる「漢字」への想いと、東日本大震災以降強まった「絆」への想いが込められています。全国の皆様にもそうした想いに共感していただきたいと考え、弊協会として、「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」の受賞作品を収録した作品集を発行する

ことといたしました。

つきましては、ご家庭や教育機関などで教養教材としての活用や、また、図書館・図書室での閲覧教材に加えていただければ幸甚に存じます。

弊協会は、これからも公益財団法人にふさわしい自立したガバナンスと透明性の高い運営を心掛け、「すべての人の学びを支える」活動を通じて我が国における生涯学習の振興と日本文化の発展に寄与してまいりますので、何卒ご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人日本漢字能力検定協会

代表理事 高坂節三



総評

漢字は人類の大変な発明だと思えます。漢字には、形や音、そして意味があり、一文字にいろいろな想いを込めることができます。

この度、約三〇・〇〇〇作品の中から受賞者を決定しました。応募が多かった漢字は、「笑」を筆頭に、「感」「謝」「友」「楽」の順になりました。これは今の時代を表しているのではないのでしょうか。私たちは限りある人生をこの世の中で生きている。日々辛いこともあるけれど、できるだけ笑顔で過ごそう。多くの人に感謝しながら、自分の今がある、生きていてよかった

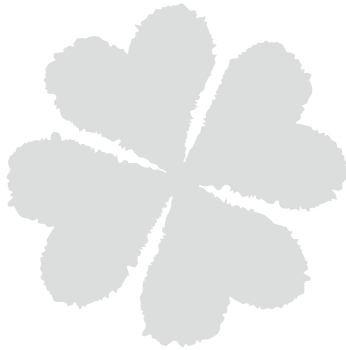
と思える。ここに私は大いなる希望を抱きます。

私が大学を卒業する時に母から教わった三つの言葉があります。一つ目は、何事にも手を抜いてはならない。常に全力であれ。二つ目は、傲慢になつてはいけない。常に謙虚であたれ。三つ目は、どんな人でも嫌いになることはない。その人の中に自分より優れているものを見よ。この教えを私は一日として忘れたことはありません。今回の非常に難しい審査に際してもそうでした。ですから、作品に順位を付けることは、母の言葉で言えば、甚

だ傲慢なことなのです。しかし、受賞者をはじめ、多くの方の生きてこられたいろいろな想いを改めて強く感じることができました。

審査員長 橋本 五郎

(読売新聞特別編集委員)



〔日本漢字能力検定協会賞〕

【小学生部門】 大原 梨奈さん (群馬県・高崎市立上郊小学校6年生)……………	P22
【中学生部門】 木村 京香さん (青森県・八戸市立小野中学校3年生)……………	P24
【高校生部門】 長浜 恵利さん (沖縄県・沖縄県立八重山商工高等学校3年生)……………	P26
【一般部門】 LE ^レ DIEU ^{ジエウ} HUYEN ^{フエン} さん (埼玉県・日本語教師25才)……………	P28

〔絆大賞〕

【小学生部門】 永友 佑さん (岐阜県・岐阜市立長森東小学校2年生)……………	P12
【中学生部門】 山口 夏季さん (神奈川県・山北町立三保中学校3年生)……………	P14
【高校生部門】 中野 志保さん (徳島県・徳島県立新野高等学校3年生)……………	P16
【一般部門】 清水 真弓さん (大阪府・清水書道教室代表51才)……………	P18

〔審査員特別賞〕

【小学生部門】 伊藤 佳奈さん(静岡県)……………	P34
植月 桃花さん(東京都)……………	P36
榎本 奏さん(埼玉県)……………	P38
【中学生部門】 斉藤 来実さん(埼玉県)……………	P42
野口 英梨さん(岩手県)……………	P44
久永 春音さん(東京都)……………	P46
【高校生部門】 磯田 紀美子さん(兵庫県)……………	P50
富澤 栞さん(山形県)……………	P52
星 啓太さん(大阪府)……………	P54
菊地 彬さん(神奈川県)……………	P58
菅原 千恵子さん(東京都)……………	P60
山口 昂子さん(岩手県)……………	P62

※掲載の都道府県、学校名・学年、職業は応募当時のものです。

[佳作]

柳原日和さん	森田彩音さん	三輪優希さん	松嶋にこさん	濱野藍生さん	中田瑞希さん	田村梨紗さん	高田峻佑さん	柴田皓平さん	篠崎 絢さん	小室杏花さん	小塩咲哉さん	合力愛華さん	草野弘樹さん	木村華子さん	大野 紅さん	今村千砂さん	今福莉樹さん	安藤優汰さん	荒川陽菜さん
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……
P76	P76	P75	P75	P74	P74	P73	P73	P72	P72	P71	P71	P70	P70	P69	P69	P68	P68	P67	P67

【小学生部門】

若山奈央さん	安田滯冬さん	古澤愛子さん	中野陽菜さん	中里 桜さん	高木勝也さん	佐藤吹生さん	佐尾歩乃佳さん	小森谷魁人さん	小坂深幸さん	桑原雄太さん	久保田光さん	桂 祐貴さん	加瀬澤実穂さん	香川晴美さん	岡田昇太さん	大場沙耶さん	伊藤大心さん	新城慧悟さん	赤塚えりさん
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……
P87	P87	P86	P86	P85	P85	P84	P84	P83	P83	P82	P82	P81	P81	P80	P80	P79	P79	P78	P78

【中学生部門】

和野友香さん	吉田奈未さん	村上美宮さん	古田有里奈さん	古川あづささん	原田優唯さん	新山千尋さん	常藤由紀さん	田中瑞生さん	菅原沙英さん	三野宮舞さん	佐藤可奈子さん	財津仁美さん	近藤りなさん	小此内寧々さん	河村萌乃さん	影山佳奈子さん	大山結嘉さん	稲毛智英さん	伊藤佳乃子さん
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……
P98	P98	P97	P97	P96	P96	P95	P95	P94	P94	P93	P93	P92	P92	P91	P91	P90	P90	P89	P89

【高校生部門】

渡会克男さん	渡邊忠春さん	渡辺多香子さん	八木伴江さん	村山初美さん	村竹 繁さん	谷本良裕さん	田代隆士さん	竹田いづみさん	佐治 司さん	黒川絵理さん	金岡たか子さん	岡本嘉子さん	岡本成子さん	岡本浩子さん	大谷峯代さん	稲濱佑美さん	伊藤典子さん	池内春美さん	荒井陽子さん
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……
P109	P109	P108	P108	P107	P107	P106	P106	P105	P105	P104	P104	P103	P103	P102	P102	P101	P101	P100	P100

【一般部門】

※基本的には応募作品の原文をそのまま掲載しておりますが、一部修正を加えている箇所がございます。ご了承ください。



絆 大 賞

【小学生部門】

永友 佑さん

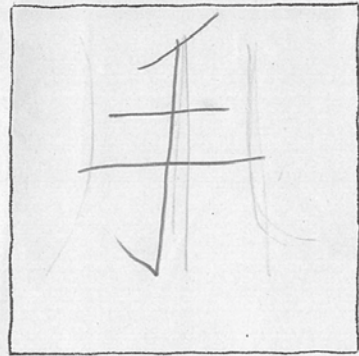
(岐阜県・岐阜市立長森東小学校 2年生)

おばあちゃんへ



なにかともゆより

この漢字をあなたに贈ります。



おばあちゃんはいいつも、ほくの
 手をにぎってくれます。ほくが、
 おこっているときも、なよしているときも
 手をにぎってくれます。そうしてもら
 うと、ほくは、とても気もちよくなよいま
 す。ほくは、あたたかくて、やあらかい
 おばあちゃんの手が、大きいです。

受賞コメント

たくさんの応募の中で自分の作品（漢字）が絆大賞に選ばれたのは夢みたいです。

自分で考えた漢字なのですごいなと思ったし、うれしかったです。

ぼくもうれしかったけど、いちばんうれしかったのは、おばあちゃんだと思います。ぼくが心を込めて書いたからです。

「手」という漢字にしたのは、おばあちゃんのことを思ったとき、ぼくが小さなおきからよく手を繋いでもらったことを最初に思い出したからです。

今でも手を繋いでもらうと、不安なことがあったとき安心できるし、なんだか素直になります。おばあちゃんの手は魔法の手みたいです。

審査員からのコメント

佑くんの心の動きに対するおばあちゃんの愛情が手のぬくもりを通じて伝えられ、「気持ち良くなり」、心の安定を得られている様子が感じられます。また、「あたたかくて、やわらかいおばあちゃんの手が大好きです」という表現の中に、佑くんのおばあちゃんに対する信頼、感謝の心が見られ、おばあちゃんとの絆をより深くしている様子がうかがえます。

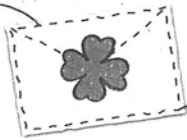
「手」という一文字の中に日常の何気ない心の通い合いがあふれる姿が見られることが絆大賞にふさわしいものになっています。（池田芳和）

【 中 学 生 部 門 】

山口 夏季さん

(神奈川県・山北町立三保中学校 3年生)

家族 へ



夏季 より

この漢字をあなたに贈ります。

迎

毎日、毎日、家で迎えてくれるあなたの存在にありがとう。

毎日、毎日、迎えてくれる憩いの場にありがとう。

毎日、毎日、迎えてくれる温かい心にありがとう。

自分が安心してホッとする場所は家であり、家族に囲まれた空間です。自分にそのような場があることはとても幸せなことだと思います。これから先も、ずっと、みんなを迎える温かい家族でいようね。

受賞コメント

この度は「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」において「絆大賞」を受賞する事ができ、本当に嬉しく思っています。

私に通っていた山北町立三保中学校は、この三月末で閉校となる為、ラストの一年間は特に皆の心と心をつなげようと、絆を大切にしてきました。それだけにこの絆大賞の受賞は、大きな喜びと驚きでした。

私は、「迎」と言う一文字を選びました。自分を迎えてくれる場がある事は、当然の事かも知れませんが、その当たり前は日々気付かないゆえに最も大きな財産だと思いました。

また、自分が迎えられるだけでなく、自分でもいろいろな人を迎える温かい存在でいたという思いも込めました。

審査員からのコメント

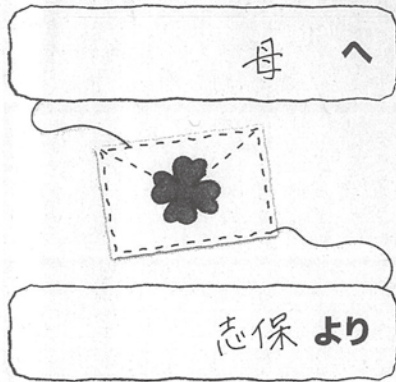
三行にわたったの「毎日、毎日、〜ありがとう」というリズムミカルな言葉の繰り返し返しが、家族のあたたかい雰囲気をもし出しています。温かく、安心して過ごせる最高のやすらぎの場である家族への感謝の気持ち素直に表現されている、心あたたまる素晴らしいメッセージです。

中学校生活での楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、つらい思いをしたことなど、何でも受け入れて迎えてくれる家族の様子が十分に伝わってきました。家族に「迎」という漢字を贈ることにより、益々その絆が深まっていくことを期待しています。(審内明)

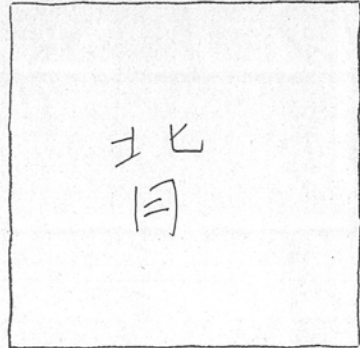
【 高 校 生 部 門 】

中野 志保さん

(徳島県・徳島県立新野高等学校 3年生)



この漢字をあなたに贈ります。



小さい頃、「仕事に行く母の背中が大嫌いでした。

「仕事行かないで」と泣きながら母を追いかけて…。その背中が今も心に残っています。あれから15年ほどたち、私は今高校3年生になりました。将来のことを悩んだ時、母の背中を思い出しました。そして、将来の夢として選んだ仕事は、母と一緒に仕事。その夢を見つけた時、あの頃大嫌いだった母の背中は、今では憧れの背中へ変わっていることに気がつきました。これからは、母の背中を追って夢へ向かっていきます。

受賞コメント

漢字に思いを乗せて大切な人に伝えるきつけかけになる、この素敵なコンクールに参加でき、直接は照れくさくて伝えることが出来ない母への思いを伝えることができたこと大変うれしく思います。

審査員の方から頂いたコメントのように「背」に人としての財産を蓄えていっていきけるような人になれるよう、しっかりと勉強に励み、人生を歩んでいきたいと思えます。

そして、いつかは母の背中を追いつ越せるようになれるよう頑張っていきたいと思えます。最後になりましたが、今回はこのような賞を頂き、誠にありがとうございます。

審査員からのコメント

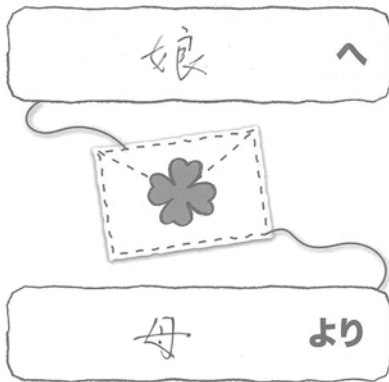
お母さんに贈った「背」という漢字には、中野さんが大人へと自立しつつある成長した姿、身の丈がずつしりと詰まっついていて、子と母の緊張感のある成熟した絆が伝わってきます。贈り手である中野さんの決意と贈られたお母さんの安堵感とが、新たに大人としての繋がりを作り上げていくことが容易に想像され、そのことが評価のポイントとなりました。

だれもが親の姿を見て育っていきます。正面から見る親の表情は具体的に多くのことを語りかけてくれますが、その奥にある背には、より本質的で大切なことがそっと隠されているように思われます。中野さんも自分では決して見ることができない「背」に人としての財産を沢山蓄えていってほしいと願っています。(戸谷賢司)

【 一般 部 門 】

清水 真弓さん

(大阪府・清水書道教室 代表 51才)



この漢字をあなたに贈ります。



「安」の字源は家の中に女がすわっているさま。
 仕事と家事で忙しかった頃よくこの「安」の文字を
 想い浮かべました。母が家に居て「おかえり」と言って
 子供を迎えられる「安」に憧れを持ちながら、その文字と
 程遠く時間には追われていました。そして今、ゴールを急いで
 先に逝ってしまった最愛の娘にこの「安」の文字を贈ろうと思ひます。

受賞コメント

「天空メッセージ」時々天空から便りがあって、故人をすぐ近くに感じることもある。一回の受賞の報告に友人がこんなことを言いました。講評を頂いたその日は偶然にも娘の命日でした。

東日本大震災の数日前、突然娘は亡くなりました。当時、京都大学法学部在学中であった娘は、謙虚でやさしい可愛い子でした。彼女は私の未来、そして希望でした。しかし、子供は子供自身のものだったので。

娘よ。先に逝ったことをゆるしてあげる。あなたが私達家族に感謝したように、私達もあなたに逢えて幸せだった。これからの人生をおかあさんは自分の為に大事につかいます。

ありがとうございます。あなたと共に生きて証を頂くことができました。

審査員からのコメント

筆で書かれた「安」の字を見たとき、何だか母の胎内にいるような深い安らぎを覚えました。何とも味わいのあるすばらしい字を書いてくれました。しかし、その裏には最愛の娘を失った深い悲しみがあったということを知りました。娘さんに「安」を贈ることで、悲しみを乗り越えようとされたのですね。

「安」は、家の中で女が座っているさまを示しているということを初めて知りました。確かにそうですね。「安」は「母」でもあるのですね。

十九年前、八十一歳で亡くなったわが母を思い出しました。家に帰って、母がいなかったときの寂しさも思い起こしてしまいました。

(橋本五郎)



日本
漢字能力検定
協会賞

【小学生部門】

大原 梨奈さん

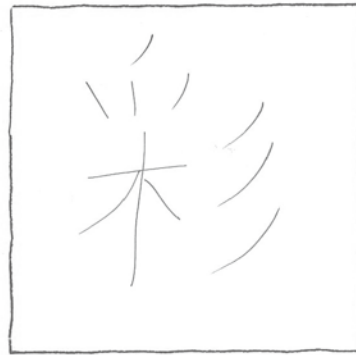
(群馬県・高崎市立上郊小学校 6年生)

おばあちゃんへ



りな より

この漢字をあなたに贈ります。

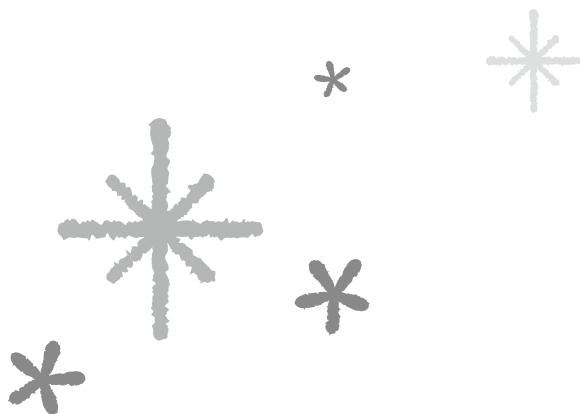


私は、祖母に「彩」という字を送りたいと思います。
 祖母は私と一緒に買い物に行くと「春になってきたね」と
 並んでいる野菜や果物を見て必ず季節を私に教えて
 くれます。祖母の作るお料理は本当にたくさんの彩りが豊かで
 目でも楽しませてくれます。テーブルの上をいつもいろいなる彩り
 いっぱいにしてくれる祖母に私は、四季の大切さを教えて
 母夫と思います。色彩豊かな食卓に感謝射したいです。

審査員からのコメント

優しいおばあさん。三世代家族が少なくなつた現在、おばあさんに恵まれた梨奈さんの幸せそうな毎日の生活が目には浮かび、羨ましくさえ思えました。

移り変わる日本の四季の大切さ、季節ごとに変化する豊かな食卓を「彩」という言葉で表現したのは素晴らしいと思いました。一字一句丁寧に書かれた文章に心がこもっていました。(高坂節三)



【 中 学 生 部 門 】

木村 京香さん

(青森県・八戸市立小中野中学校 3年生)

両親へ



木村京香より

この漢字をあなたに贈ります。

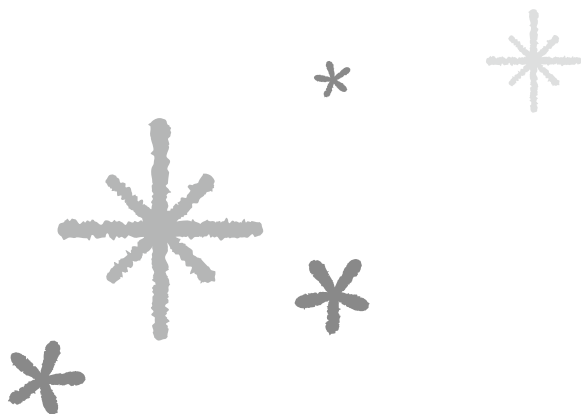
望

私は母と父の子に生まれてきて世界1幸せ者です。東日本大震災で大きなゆれが生じたとき、母は私をかばうようにして「大丈夫」というの温かい声を待ってくれますね。父は出張先からわざわざ飛行機で私の元まで戻ってきてくれますね。家族四人集まり顔を見ると安心して涙り止まりませんでした。怒られて反抗してしまうのは家族が私に安心して居場所だからです。子は親を選べないというけれど私は母や父のもとを望んで生まれてきました。将来母のような女性になって父のような男性と結婚します!

審査員からのコメント

家庭崩壊が叫ばれ、家庭よりも自由が大切という風潮が広がっている今日、お母さん、お父さんに心から甘え、家族の大切さを体中で感じている京香さん。

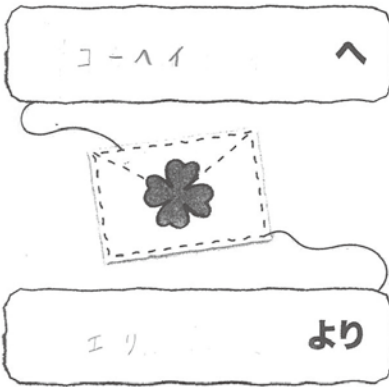
大震災は本当に悲劇でしたが、家族の「絆」の大切さを思い起こし、母や父のもとを「望」んで生まれ、将来母のような女性になつて父のような男性と結婚するのが「望」であると言いつける京香さんはもとより、ご家族全員の温かい雰囲気伝わってきました。（高坂節三）



【 高 校 生 部 門 】

長 浜 恵 利 さん

(沖縄県・沖縄県立八重山商工高等学校 3年生)



この漢字をあなたに贈ります。



この漢字は「フ」が下の「意」から、お中「人」中物のもとに

夕「く」の人が集まるという意味があります。あなたの周りには

いつもたくさんの方がいます。それ、あなたが「誰にでも

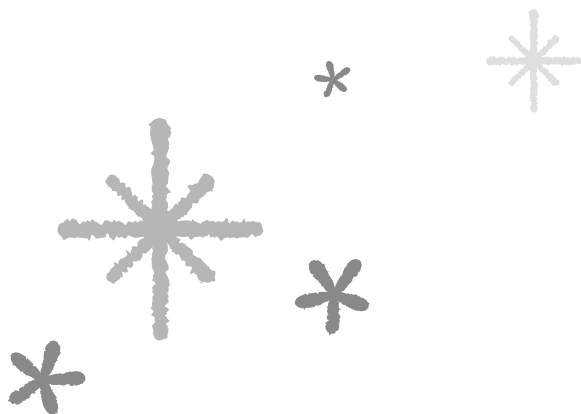
愛おしく「い」で「梅」して「いる」から「た」と思っています。

「い」があなたの「傘」に「私」を入れてください。

審査員からのコメント

「雨雨降れ降れ母さんが、蛇の目でお迎え嬉しいな」という時代は過ぎ、コンビニで安い傘で間に合わす時代になりました。

「傘」の意味も変わりました。しかし一つの「傘」の下に集まるという意味の「傘」は変わらずあり続けています。誰にでも変わらぬ心で接して、多くの友達が集まる中心人物であるあなたの「傘」に入れて欲しい、という素直で一途な気持ちがありありと伝わってきました。（高坂節三）



【 一 般 部 門 】

レ ジェウ フェン
LE DIEU HUYEN さん

(埼玉県・日本語教師 25才)

義理のお姉さんへ



フェン より

この漢字をあなたに贈ります。



兄のお嫁さんになってくれてありがとう!

私と兄は二人だけの兄弟なので子供の頃からいつも姉がほしかた。兄が結婚当日に「やっと姉ができた」と思ってとても嬉しかた。ニコニコしながら「子供ができた」と報告したお姉さんの幸せな顔を今も思い出している。しかし、病院で子供がなくなつたその日のお姉さんの顔も一生忘れられない。その日のことを考えるたびに胸が痛くて痛くてたまらない。私ができるのはお姉さんが泣くのを見守れたこと。その時になにを言っても意味がないと思つた。私がお姉さんに一番贈りたいのは「笑」だ。お姉さんの幸せな顔をもう一度見たい。

審査員からのコメント

日本語の勉強のために留学中のフエンさん、お兄さんと義理のお姉さんが日本に住まわれているのか、母国のベトナムでのできごとか判りませんが、生まれたばかりのお子さんを亡くされたお姉さんの気持ちに添ってあげるフエンさんの気持ちが私たちにも伝わってきます。

「泣」くのをやめ、「笑」顔を見たい。心優しいフエンさんの美しい日本語で書かれた文章に拍手を送ります。(高坂節三)





審 查 員
特 別 賞

小学生の

「贈りたい漢字」ランキング

応募された「贈りたい漢字」の字種は
計 1,348 字でした。

小学生部門で応募数が多かった漢字を発表します。

1位

友

2位

笑

3位

感

4位

優

5位

心

小学生部門



【小学生部門】

伊藤 佳奈さん

(静岡県・御殿場市立原里小学校 6年生)

おはあちゃんのお兄さんへ



伊藤 佳奈 より

この漢字をあなたに贈ります。

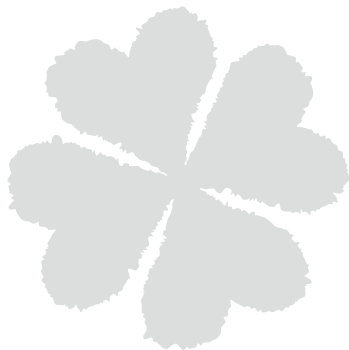
命

私は、この字を選びました。なぜかと言うと、おはあちゃん
 の実家が牧場です。私のひいおはあちゃんくらいから牛を育
 っています。遊びにいくと、手伝いをさせてくわ動物
 の生命の大事さ、重さをおしえてくわしました。
 おじさんのおかげで「一つの生命を大事にして
 いけそうです。牛の世話をしている姿は、とても
 素晴らしいです。おじさんが教えてくわ「命」を贈ります。

審査員からのコメント

生き物を育てるという仕事はとても大変な仕事です。牛の成長を楽しみにしつつ、毎日牛舎の中で世話をするおじさんの姿の中に命を大切にすることの心が学べたのでしよう。

「おじさんの仕事ぶりを見て、「まぶしい」と表現できる佳奈さんの心優しさを感じます。贈る「命」を毛筆で書いてくれていることも印象深いです。（池田芳和）」



【小学生部門】

植月 桃花さん

(東京都・練馬区立泉新小学校 4年生)

保育園の友達へ



植月 桃花 より

この漢字をあなたに贈ります。

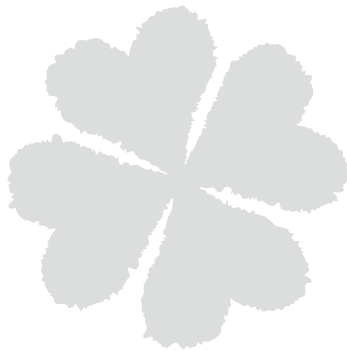


私が菜をえらんだ理由は私は菜の花が好きです。たまたま保育園の近くにあつたので、菜の花をいっぱいこいました。私が保育園に入ると一回も友達が出来なかった時に「菜の花好きな?」と聞かれたので「はい」と言ったら「さか」と言われて5分くらいいたら「さかきの子が、菜の花の花束をもって「はい」と言っておたしてくれました。私は「ありがとう」と言ってお友達になりました。

審査員からのコメント

友達のいない寂しさを感じているときに、大好きな「菜の花」の花束をくれた友達の温かい気持ち忘れられないというのはとてもよくわかります。ほんとうにうれしかった出来事を今も忘れず、心の糧にしている桃花さんは、このときの気持ちを持ち続けているのでしょうか。

そのときの気持ちを漢字でお友達に贈るというのはすばらしいですね。(池田芳和)




【小学生部門】

榎本 奏さん

(埼玉県・鶴ヶ島市立藤小学校 3年生)

この漢字をあなたに贈ります。

おはあちゃんへ



かなでより

花

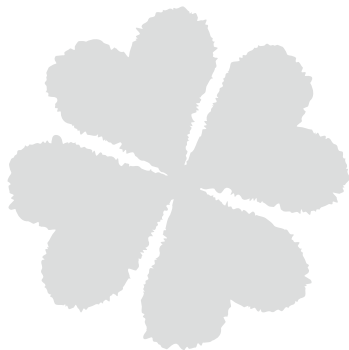
わたしのおはあちゃんはお花の先生をしています。洋服はいつも色あいよくきめていてとてもすてきです。つくえの上には、おはあちゃん
 が作ったきれいなお花の作品がいつもおい
 てありへやが明るく見えます。なのでおはあ
 ちゃんのおうちには、お花にみつばちやチョウが
 集まるようにたくさんのお友だちが来るのでお
 はあちゃん自身がまるでお花のようです。そんなおはあちゃん
 にぴったりな花という漢字をおくりします。

審査員からのコメント

奏さんのおばあちゃんに対する尊敬とあ
こがれが「花」の漢字を贈るきっかけに
なっているように思います。お花の先生、
洋服の色合い、花の作品、多いお友達な
ど、華やかなおばあちゃんの生き方にあこ
がれている様子が伝わってきます。

しっかりと文字でおばあちゃんを花に
たとえた贈る言葉もすてきですね。

(池田芳和)



中学生の

「贈りたい漢字」ランキング

応募された「贈りたい漢字」の字種は
計 1,348 字でした。

中学生部門で応募数が多かった漢字を発表します。

1位

笑

2位

感

3位

謝

4位

楽

5位

友

中
学
生
部
門



【 中 学 生 部 門 】

斉藤 来実さん

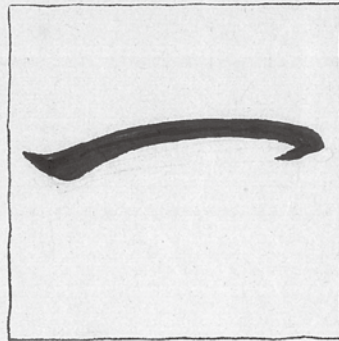
(埼玉県・川口市立幸並中学校 3年生)

馬伝部のみんなへ



斉藤 来実 より

この漢字をあなたに贈ります。

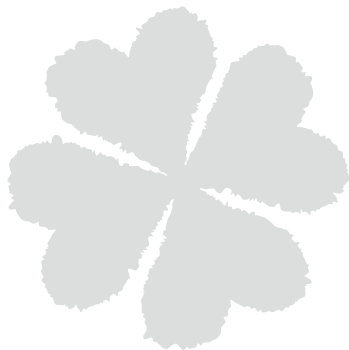


今まで、1日1日 しっかりと苦しい日々と一緒に乗り越えてきた
 馬伝部のみんな。一つのことを目標にして頑張ってきた私たちは
 お互いがかけがえのない存在です。「1人の力ではチームの力には
 なる」「1人1人のタイムはチームのタイムになる」私たちは一番意識し
 てきたことが1人でも欠けてしまえば私たちのチームは絶対に、どんなに
 頑張っても成り立ちません。1歩1歩を大切に。1秒1秒を大切に。
 「1本の木では木陰がない。木を1つにかんばらう。『ONE For ALL, ALL For ONE』」

審査員からのコメント

駅伝部の仲間と心を一つにして目標に向かって全力で頑張ろうという意気込みを「一」という漢字で表現した説得力あふれたメッセージです。

「一」のもつ意味を有効に使いながら、駅伝部のみんなにこの漢字を贈るとともに、自らの気持ちをも奮いたたせながら目標に向かって突き進もうという意気込みが伝わってきました。チームメイトとの一体感やつながりをさらに一層強固にしようという素晴らしい内容です。(壺内明)

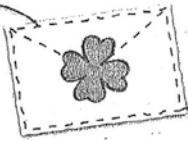


【 中 学 生 部 門 】

野口 英梨さん

(岩手県・洋野町立種市中学校 1年生)

家族 ^



野口英梨より

この漢字をあなたに贈ります。

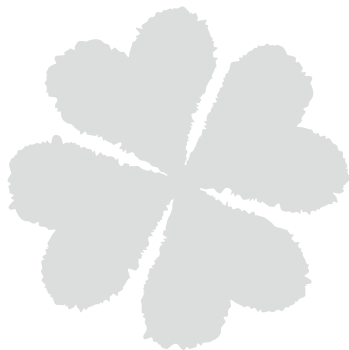
彩

いつも周りをとましているたくさんの色。お母さんの明るい色、お父さんの頼れる色、兄のすい色、姉のきれいな色、祖母の優しい色、祖父の立派な色。みんなの彩りあふれるその個性が大好きです！たまにはケンカもあるし、衝突もするけれど、その分仲直りして、たくさん笑い合って、幸せだなあと思います。そんな家族のあたたかい色が、これからもずっと薄れないでほしいです。

審査員からのコメント

家族の一人一人には、それぞれの個性と役割があります。その個性を「彩」という漢字で表し、今の家族の幸せがこれからもずっとずっと続きますようにとの願いが込められた素晴らしいメッセージです。

どんなことがあっても「家族のそれぞれの色」は薄れない、安心と信頼の絆で結ばれた、あたたかい家族への感謝と思いが込められている内容です。家族全員が力をあわせればどんな困難なことでも乗り越えられますね。（垂内明）



【 中 学 生 部 門 】

久永 春音さん

(東京都・板橋区立加賀中学校 2年生)

バレー部の仲間へ



久永 春音 より

この漢字をあなたに贈ります。

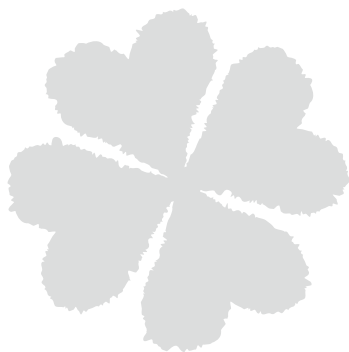
繋

バレーボールは、1つのボールを6人のプレイヤーで繋ぐもの。でもね、プレイヤーはたった6人でも、私の仲間は6人じゃない。コートの外で応援してくる君も、ココまで育ててきてくれたあなたも、精一杯が指導してくれた先生方も、みんなみんな仲間なんだ。だから私は、コートの中でボールを繋ぐのと一緒に、みんなの思いも繋ぐんだ。みんな目指してきた1つの目標をかなえるために、この思いと、このボールを繋いでみせるんだ。

審査員からのコメント

バレーボールを通じての仲間とコートの外で支えてくれる仲間に対しての熱い思いを「繋」という漢字で表現している素晴らしきメッセージです。バレー部の仲間六人が共通の目標に向かって、心と心を繋いで練習に励んでいる様子が伝わってきました。

きっと支えてくれる仲間から大声援を受けながらはつらつとしたプレーをして、目標達成に向かって勝ち進んでいるのではないかと想像されます。(壺内明)



高校生の

「贈りたい漢字」ランキング

応募された「贈りたい漢字」の字種は
計 1,348 字でした。

高校生部門で応募数が多かった漢字を発表します。

1位

感

2位

笑

3位

謝

4位

愛

5位

楽

高校生部門



【 高 校 生 部 門 】

磯田 紀美子さん

(兵庫県・伊丹市立高等学校 4年生)

市高の先生へ

この漢字をあなたに贈ります。



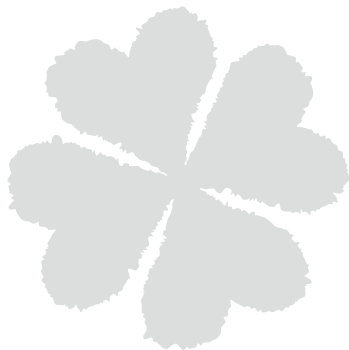
磯田紀美子より

私が54歳で高校に入学し勉強や高校生活面で不安に思っていた
 時に、たくさんのお先生から、やさしく声をかけて頂き、勉強も一から教えて頂き
 ました。学びの頭と心を温かい言葉で耕して下さい。勉強、勇気、自信の
 種を蒔いて下さいました。四年間、時には、ほめて、時には励まして下さいました。
 お陰様でようやく卒業という華が咲きます。学ぶことの楽しさ、大切さ
 を教えて下さった総也ちゃん心で高校生活を送ることができました。
 ありがとございまして。

審査員からのコメント

「墾」には、五十歳を過ぎての高校生活でさまざまな困難を乗り越えてきた礒田さんの勉強への強い思いとそれ以上に高校生活の支えとなってくれた先生方への心からの感謝の気持ちが込められていることが容易に伝わってきます。

荒地を切り拓いて耕す作業はとりもなおさず教育の仕事です。贈られた先生方もさぞ快く受け取り、礒田さんとの絆を感じることでしょう。(戸谷賢司)



【 高校生部門 】

富澤 栞さん

(山形県・山形県立寒河江工業高等学校 1年生)

私の大切な通友達へ



富澤 栞 より

この漢字をあなたに贈ります。

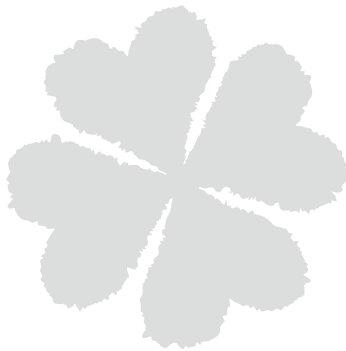
字

私はあなたの文字が大好きです。楽しい話題の時は踊るようなはねるような字。悲しい話題の時は少しもんだいような字。あなたの文字には表情がありますね。あなたの手紙を読んでいると、まるであなたと面を向かって直接話しているような感じがします。私はあなたの元気が伝わってくるような笑顔と手紙の文字を通していい感じします。私は、あなたの少し右がりで縦長でくせのとこ強い、あなたに似合っている文字がとて大好きです。

審査員からのコメント

文通友達に贈った漢字、「字」には富澤さんの豊かな感性と文通相手への細やかな思いが詰まっています、とても爽やかな印象を受けました。また、文字を生活の一部として大切に、文通を通じて共に高校生活を充実したものにしていることが容易に伝わってきます。

きつと贈られた友人もさらに友情を強固なものと感じてくれるでしょう。(戸谷賢司)



【 高校生部門 】

星 啓太さん

(大阪府・大阪市立南高等学校 3年生)

W-132

●贈りたい相手

母

●贈り主

息子

●贈りたい漢字

諦

●メッセージ

この漢字を贈りたい。十年前、父が出て行ってから、女手一つで僕を育ててくれた母に。

語源は「物事を見極める」、「心の中を明かす」という意味なのだ。

がむしゃらに頑張る姿は、現実から逃げているようにも見えたんだ。

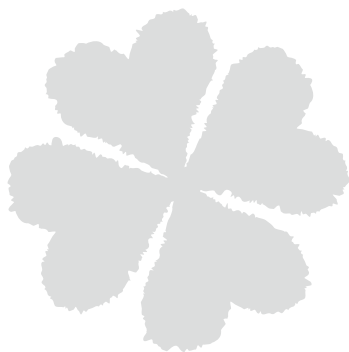
だから一度立ち止まって、周りを見極め、心の中を明かしてほしい。

十年前の僕とは違う。今なら母さんを支えられるから。

審査員からのコメント

星君が贈った漢字「諦」からは、思春期を抜け出し、一人前の男性へと脱皮している姿や大人としての気遣いを母に伝えようとしている様子がよく伝わってきます。

「諦」という漢字を贈られたお母さんも、成長した息子の大人の匂いを感じ取り、さぞ快い驚きとともにほっと肩の荷を下ろされることでしょう。親子の新たな絆が生まれようとしている、このことが評価のポイントになりました。(戸谷賢司)



一般部門の

「贈りたい漢字」ランキング

応募された「贈りたい漢字」の字種は
計 1,348 字でした。

一般部門で応募数が多かった漢字を発表します。

1位

愛

2位

謝

3位

笑

4位

生

5位

優

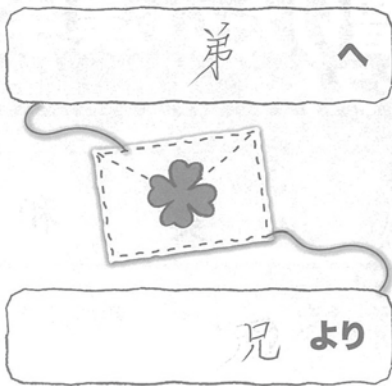
一般部門



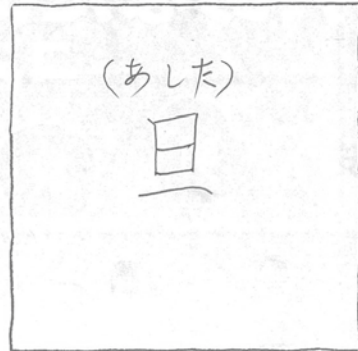
【 一般部門 】

菊地 彬さん

(神奈川県・無職 70才)



この漢字をあなたに贈ります。



障害児を抱え、肝心の妻までが半身不随の病魔
におそわれ、途方に暮れる我が弟よ。

憂患の念を込めて「旦」の一字をおくる。

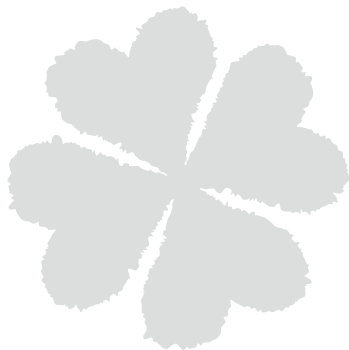
元旦は年の始まり、晨旦は一日の始まり。新しい旦(あした)を
信じて苦難に立ち向かってくれ。

愈々の時には俺がいる。

審査員からのコメント

弟さんは大変ですね。「幸せな家庭は一樣に幸せである。不幸な家庭はとりどりに不幸である」というトルストイの『アンナ・カレーニナ』の一節を思い出しました。でも、弟さんは幸せかもしれません。全身で守ろうとするお兄さんがいるのですから。

そうだ、「巨（あした）」があるのだ。辛くとも希望を持って生きていかなければならない。私も激励されたような気持ちになり、明るくなりました。（橋本五郎）



【 一 般 部 門 】

菅原 千恵子さん

(東京都・主婦 51才)

娘たちへ



おかあさんより

この漢字をあなたに贈ります。

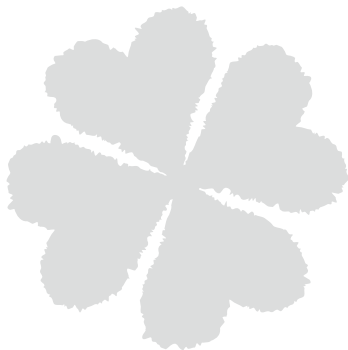
恕

「あなた達に一生心に留めておいてもらいたい言葉があります。それは『恕』です。覚えて
 いますね。大学の卒業を前に、お世話になった先生から頂いた言葉。おかあさんは、今も忘れ
 ません。小学校も中学の国語で勉強しました。『論語』の中で、子貢が先生である孔子に質問
 します。「死ぬまで行かばいような、ひとの言葉はありますか」と。孔子は「それは恕だ。自分が
 してほしくないことを、人にしてほしくない」と答えます。人の信頼を裏切らない、思いやり、心を
 忘れない、ということですよ。なかなか難しいけれど、これからは人と成っていく小学校に
 覚えておいてほしい、いえ、少し前、日々実践してほしい言葉です。素敵な人になってね。」

審査員からのコメント

娘さんたちへの何よりの贈り物ですね。福澤諭吉が、夫婦を結びつけるものは「愛・敬・恕」と書いているのを思い出しました。「恕」は人間同士の関係でもとても大事で、お互いの立場に立って許し合うことができる気持ちであると説いています。

娘さんたちはこれからの長い人生の節目節目で、お母さんの尊い教えを思い出すに違いないと思います。(橋本五郎)



【 一 般 部 門 】

山口 昂子 さん

(岩手県・教師 27才)

山口さんへ



昂子より

この漢字をあなたに贈ります。

進

あなたと出会って約8年。結婚する前も、結婚してからも、何年もの間、外国での仕事を夢見て英語の勉強を続けてきましたね。夢が実現し、11月からいよいよアメリカ行きます。ずとそばで見してきたあなたの努力、本当にすごいな、と思います。私は、すぐには一緒に行くことはできないけれど、日本で毎日あなたのことを応援しています。

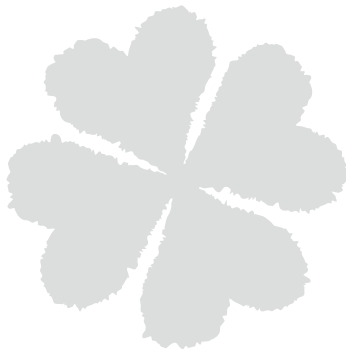
自分の力で新たな道を拓いたあなた。

体に気をつけて、その道を信じ、突き進め!!

審査員からのコメント

私にはある光景が浮かんできました。夢の実現のため、仕事を終え家に帰ってから深夜まで一心不乱に勉強している夫に、妻が「疲れたでしょう」とそつとお茶を差し出す。夫はその温かさでまた頑張ろうという気持ちになる――。

—— どんな困難が待ち構えても前向きに進もう。その気持ちを側で支えている人がいるというのはどんなに幸せなことだろうと羨ましく思いました。(橋本五郎)





小学生部門

【小学生部門】

荒川 陽菜さん

(東京都・世田谷区立赤堤小学校 3年生)



【贈りたい相手】

お父さん、お母さん

【贈り主】

陽菜

お父さん、お母さん、「陽菜」というすてきな名前をつけてくれてありがとう。太陽のように、明るく
てらして人を元気にできるような大人になるようが
んばります。

きずついている人や、おちこんでいる人に、明る
くせつして笑顔にしてあげたいです。まだわたしは
子どもだから、今はお父さんとお母さんを笑顔で明
るくてらします。

安藤 優汰さん

(埼玉県・比企郡小川町立大河小学校 3年生)



【贈りたい相手】

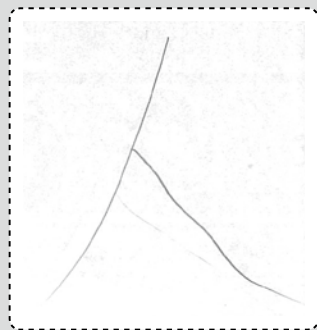
おばあちゃん

【贈り主】

あんどう ゆうた

ぼくの住んでいる小川町はまわりが山にかこまれ
ていて空気がキレイです。
東京のおばあちゃんにも小川の夜空を見せてあげ
たいです。キレイな星がたくさん見えます。

【小学生部門】



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

りじゅ

今福 莉樹さん

(東京都・練馬区立光が丘四季の香小学校5年生)

お母さんへ

いつもありがとうね。なんでもりじゅが「人」という字を書いたのかというの意味は「人生」です。りじゅがづらい時や落ちこんでいる時、お母さんは必ず、りじゅのつくえの上に手紙を置いてくれたよね。りじゅは今でもアルバム入れにその手紙を入れてるよ。手紙の中に「これからもいろんな事があるけれど大人だつていやなこともあるよ。それを、「人生」というんだよ。」とその言葉をずっと心の中に入れてきます。



【贈りたい相手】

じじ

【贈り主】

千砂

今村 千砂さん

(群馬県・前橋市立原小学校3年生)

わたしは、耳が好きです。とくにじじの耳たぶが好きです。やわらかくて、ぷにぷにしている、さわりごちがいいからです。

さいしょはママの耳が好きでした。でも、妹がうまれてからママはいそがしくなって、あまりさわらせてくれなくなりました。だから自分の耳をさわるようにになりました。

でもやっぱりじじの耳が好きです。いやがらずにわらってさわらせてくれるやさしいじじが好きです。

大野 紅 さん

(京都府・八幡市立中央小学校 6年生)



【贈りたい相手】

クラスのみんな

【贈り主】

大野 紅

六年間いっしょにすごしたみんなへ。今年で、小学校を卒業するけど、毎日の学校生活が、とても楽しかったよ。私は、そんな楽しかった学校を、第二の「家」だと思っています。いつもあたたかい笑顔で、つつまれている学校が大好きです。

「卒業しても、あたたかいみんなできてね〜!!」

木村 華子 さん

(京都府・八幡市立中央小学校 6年生)



【贈りたい相手】

お姉ちゃん

【贈り主】

木村 華子

お姉ちゃんとはあと何年かで社会人になるね。そのときは自分で自分のことを分かり自分で自分の道を選ばなければならない。私にはまだ選ぶっていう気持ちは分からない。でもいつかはお姉ちゃんみたいに選ぶって時がくるんだよね? そう思うと私はお姉ちゃんみたいになりたいって思ったよ。

自分で自分の道を選んでね! 応援してるから。

お姉ちゃん応援団華子^v^

【小学生部門】

心

【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

弘樹

草野 弘樹さん

(福島県・玉川村立須釜小学校 6年生)

いつもきびしくいやな時もあるけど、僕を思っている一言が今は心にひびく時があります。

お父さんは怒ると、素直になれ、我慢強くなつて努力しろ、相手を思いやれなどと、心が大事だと言うけどなんとなくわかるような気がします。わがまま言う時もあるけど僕は感謝の心を忘れないで、これからも頑張ります。

いつもありがとうございます。

魂

【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

合力 愛華

合力 愛華さん

(佐賀県・唐津市立大志小学校 5年生)

私は親せきからも友達からお父さん似と言われます。でも本当は違います。私はあんな立派な人間ではないからです。そんなお父さんの口ぐせは、「努力をした人しか、良い事は来ない。」という言葉です。この言葉のおかげで私は何度も救われました。きっと、お父さんのあの大きな背中の中には、太く逞しい魂があるのだと思います。だからお父さんにぴったりな漢字「魂」にしました。



【贈りたい相手】

ままとパパ

【贈り主】

こしお さくや

小塩 咲哉 さん

(大分県・大分市立森岡小学校2年生)

「咲」という字には、わらうといういいみがあるそうですね。だから、ぼくにいつもえがおおでいてほしいというねがいがこめられていると思います。

ぼくは、友だちとなかよくえがおでいようと思います。



【贈りたい相手】

あべ れなちゃん

【贈り主】

小室 杏花

小室 杏花 さん

(東京都・世田谷区立塚戸小学校2年生)

れなちゃんが、引越して五ヶ月がたったけれど、いつもれなちゃんが、楽しく笑顔でいられるように想っているよ。

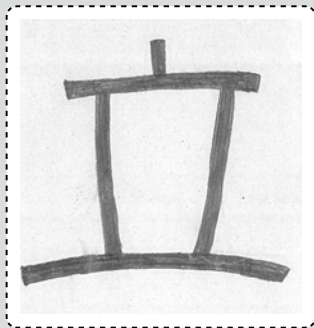
今年、はなれた場所で、漢字検定うけるけれど、同じ日に、れなちゃんもがんばるんだと聞いて、私もがんばって練習してるよ。

大親友新聞三号を、作っておくるから、まっけてね。

【小学生部門】

篠崎 絢さん

(神奈川県・相模原市立共和小学校 6年生)



【贈りたい相手】

お父さん、お母さん

【贈り主】

篠崎 絢

私は今まで、たくさんの人に支えられながら成長してきました。その中でも特に、私にとって大きな支えとなっていたのが、お父さんとお母さんです。私の好き勝手なわがままで、たくさん困らせたと思います。だから、これからは今までの恩返しとして、「自分の力」で「自分の足」で立っていきける様に少しずつ努力したいと思います。

柴田 皓平さん

(北海道・伊達市立伊達小学校 6年生)



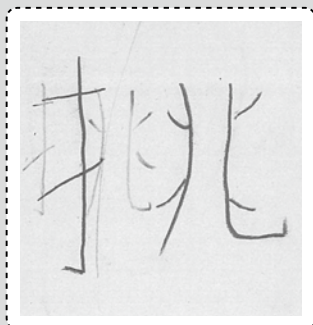
【贈りたい相手】

お父さん、お母さん

【贈り主】

柴田 皓平

この漢字には、「思いやり」という意味があります。いつも感謝をわすれずに、思いやりの心を持って、生活する。このことを教えてくれたのは、お父さんとお母さんでした。その他にもお父さん、お母さんには色々なことを教わりました。今のぼくがあるのはお父さんやお母さんのおかげです。本当にありがとうございました。



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

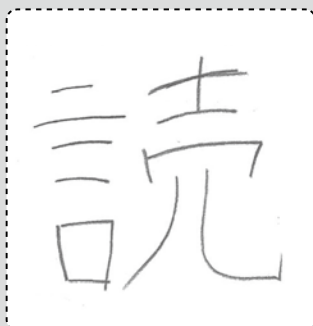
高田 峻佑

高田 峻佑 さん

(富山県・富山市立水橋西部小学校 5年生)

ぼくは、この前プールで七〇〇m泳ぎました。ぼくは、あるときびつくりしました。もともとあまり泳げなかったのにあんなに泳げてびつくりしました。プールからあがったとき七〇〇m泳げたと先生に言われたので、すごくうれしかったです。そのときぼくは、「何でも挑戦すればできるんだな」と思いました。

ぼくは何でも挑戦する心がなかったから今度からは何でも挑戦しようと思いました。今度は一・〇〇〇m泳いでお母さんをびつくりさせたいです。



【贈りたい相手】

笠原 智恵美先生

【贈り主】

田村 梨紗

田村 梨紗 さん

(群馬県・前橋市立山王小学校 4年生)

笠原先生、先生が色々な本を読んでくれたおかげで、本を読むのがとても好きになりました。今は、シートン動物記を読んでいます。今度は、ファープル昆虫記を買ってほしいと思っています。

わたしは、今、作家になるという夢を持っています。先生のおかげで本を読むことが好きになれて、本当に良かったです。本当にありがとうございます。

【小学生部門】



【贈りたい相手】

お父さん・お母さん

【贈り主】

瑞希

中田 瑞希さん

(東京都・豊島区立高松小学校 6年生)

いつも私のことを『支』えてくれて本当にありがとう。
 生まれたときから二人の『支』えがあつてこま

でくることができました。また、最近新しい家族が増えました。妹には、また『支』えが必要になります。私は今度は子育てが大変なお父さんとお母さんのことを少しでも気持ちだけでも『支』えていきたいです。お父さんとお母さんがおじいちゃんとおばあちゃんになったら、次は妹と二人で『支』えていこうと思います。



【贈りたい相手】

ママ

【贈り主】

娘

濱野 藍生さん

(石川県・白山市立千代野小学校 6年生)

私の心が傷ついて、周りが何も見えなくなつてしまった時、ママと一緒に苦しんで、一緒に泣いてくれましたね。

そして、どんな時も私というそのままでの存在を認めて励まし、見守ってくれています。
 認めてもらえているという事が、私の心の支えになっています。

ありがとう、ママ。

松 嵐 にこさん

(富山県・高岡市立戸出東部小学校4年生)



【贈りたい相手】

ママ

【贈り主】

にこ

ママの手は、とってもあったかい。やさしいその手がわたしは大好き。毎日のおいしいごはんもその手で作ってくれる。愛情たっぷりのごはん。わたしが困っているときは、その手でかたをなでてくれる。なみだもふいてくれる。

やさしくて、あったかくって、家ぞくを幸せにしてくれるママの手。ずっとこの手を見たいと思いますように。

三 輪 優希さん

(岐阜県・岐阜市立長森東小学校1年生)



【贈りたい相手】

だいき (おとうと)

【贈り主】

ゆうき

四月からはしようがつこうまで歩くよ。がんばってね。おともだちとおしゃべりしながら歩くとなんて楽しいよ。いつしよに歩こうね。

【小学生部門】

島

【贈りたい相手】

ママ

【贈り主】

あやね

森田 彩音さん

(鹿児島県・南さつま市立大浦小学校3年生)

わたしのお母さんは、おりょうりがとても上手で、わたしにも作り方をやさしく教えてくれます。わたしのけんさのために市内のびょういんまでつれていってくれます。きょうだいげんかをしたときは、けんかをとめてくれます。

わたしのお母さんは、島のように心の大きな人です。お母さんありがとうございます。

手

【贈りたい相手】

[とんとん] お父さん

【贈り主】

日和

柳原 日和さん

(岐阜県・帝京大学可児小学校2年生)

ぼくのお父さんは、せつびのしごとをしています。グローブみたいにごつごつした大きな手をしています。

ぼくのおもちやがこわれた時や、何か作ってとたのんだら、ばばとすぐになおしてくれたり作ってくれたりします。

ぼくもそんなまほうみたいな手になれたらいいな。

中
学
生
部
門



【 中 学 生 部 門 】

赤塚 えりさん

(福島県・いわき市立大野中学校 3年生)



【贈りたい相手】

お兄ちゃん

【贈り主】

赤塚 えり

お兄ちゃん。私は知っています。人知れず努力していることを。人の前では、そんなそぶり、全然みせてくれないけど。

野球の試合に出て、ヒットを打った時、本当に幸せそうに笑っていましたね。あの笑顔を見て、本当に野球が好きなんだと思いました。一生懸命に、楽しそうに野球をしているお兄ちゃんは、すごく輝いています。

マウンドで夢をつかみとってください。面と向かっては言えないけど、応援してるよ。頑張ってるね。

お兄ちゃんなら、きつと輝けるよ。

新城 慧悟さん

(沖縄県・竹富町立波照間中学校 2年生)



【贈りたい相手】

お父さん、お母さん

【贈り主】

慧悟

お父さん、お母さん、僕は生まれてから、もう十四年もたちます。十四年間でこんなに成長しました。これは、お父さん、お母さんと共に歩いてきた証です。

あと一年半で僕はこの島を旅立ちます。でも、どんな時でも、親子のつながりは絶対に切れることはありません。

だからこれからも、共に歩いていけるよう僕もがんばります。これからもよろしくお願いします。



【贈りたい相手】

私の恩人

【贈り主】

現在の私

伊藤 大心さん

(東京都・日野市立三沢中学校 2年生)

もしも、あの時、あなたが私の前にいなかったら、私は不良になっていたでしょう。今、毎日が楽しく過ごせているのは、あの日、あなたの口から放された、あの言葉だろう。

「お前の母ちゃんはお前を不良にするために産んでくれたのか。」

私はその時、これまでの自分の過ちに気付いた。現在の自分を振り返り、私はこう思う。あなたのおかげで、私は正しい道へと進むことができたというプレゼントをあなたにしたいと…。



【贈りたい相手】

剣道部の6人

【贈り主】

大場 沙耶

大場 沙耶さん

(千葉県・千葉市立葛城中学校 2年生)

私は、剣道部六人に「虹」を贈ります。

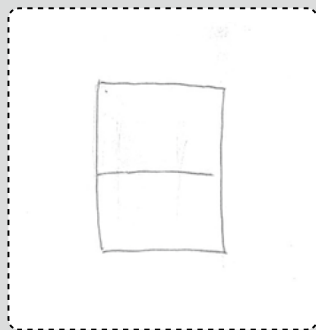
中学に入学し、全員初心者で剣道を始めた私達七人。初めて買った手拭いは、全員色違いでした。七人が並ぶと、七色の虹のようです。

一人でも欠けていたら、虹でもなく、剣道部じゃない私達七人。辛いときも、悲しいときも、嬉しいときも、七色の虹が空にかかっています。赤、青、黄、緑、紫、ピンク、水色の虹が…。

【 中学生部門 】

岡田 昇太さん

(佐賀県・早稲田佐賀中学校 1年生)



【贈りたい相手】

父

【贈り主】

岡田 昇太

父は朝日と夕日が大好きでした。とにかく日を見ることが大好きでした。だから僕の名前は「昇る太陽」昇太です。どんな苦悩も太陽のように昇っていきという意味で名前をつけてくれました。

ときどき父は僕にメールで「朝日を見たよ」というメールを送ってきてくれます。だから、日本から遠く暑いアフリカで働いている父に思い出の漢字を贈りたいです。

香川 晴美さん

(東京都・日本大学豊山女子中学校 1年生)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

晴美

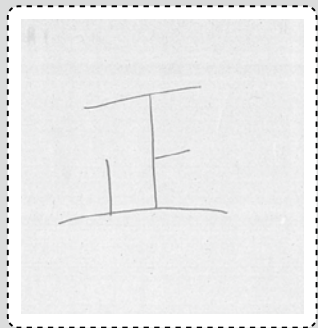
「ホタル」は美しいです。おしりが、小さいけど、確かに光っていて、ホツとする様な明るさです。私にとって、お母さんは、そんな存在です。いつもそばにいてくれるだけでホツとするような、「ホタル」そのものです。

虫はいつも、せわしなく動いています。そんな姿とお母さんの働いている姿は、ピッタリと重なります。元気に、いつも飛び回っていて、キレイです。

お母さん、どんなに苦しくても、どんな暗闇でも、安心させる光を私に与えてくれる、私の「ホタル」でいつまでもいてください。

加瀬澤 実穂さん

(静岡県・静岡市立清水第二中学校 2年生)



【贈りたい相手】

お兄ちゃん

【贈り主】

実穂

お兄ちゃんには将来の夢があると行っていたね。なので「正」という五画に、意味を込めて送りたいと思います。

一画目。真面目でいてください。二画目。礼儀正しくいてね。三画目。夢を持ち続けてね。四画目。誰にでも笑顔で。五画目。正しい心を忘れずに。

お兄ちゃんの願いが叶いますように。

桂 祐貴さん

(大阪府・和泉市立光明台中学校 1年生)



【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

桂 祐貴

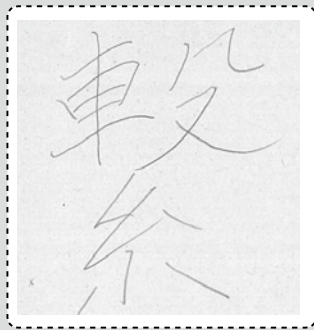
お父さんと一緒にいると、心が晴れる。どんなに落ち込んでいても、どんなにどしゃぶりの雨がふっていてもお父さんの一言で、やさしい風の一吹で心が晴れる、空が晴れる。ぼくの未来さえもが晴れている。

お父さんはぼくの太陽。今は照らされているけど、いつかはぼくがお父さんの太陽になるよ。

【中学生部門】

久保田 光さん

(埼玉県・川口市立幸並中学校3年生)



【贈りたい相手】

駅伝のチーム

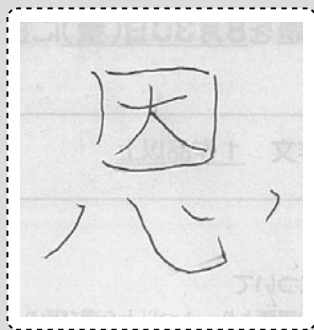
【贈り主】

駅伝部部长

今、練習をがんばることは、チームのために戦うこと。チームのために戦うことは、負けない強い力を得ること。負けない強い力を得ることは、誰かのために戦うこと。誰かのために戦うことは、誰かのために戦うこと。誰かのために戦うことは、誰かのために戦うこと。走り抜くのは、たすきを繋ぐこと。たすきを繋ぐことは、心を繋ぐこと。

桑原 雄太さん

(東京都・町田市立金井中学校3年生)



【贈りたい相手】

家族

【贈り主】

雄太

「恩」という文字は「因」と「心」である。自分のために真心の因を積み重ねてくれた人達に精一杯の真心で返していく感謝の言葉だと思います。感謝がない人は、自分のために何かしてくれてもあたりまえにしか思えない。そういう人は不平不満を言い、文句ばかりが出てしまっ。

「ありがとう」は魔法の言葉だと思う。声に出せば元気に変わり、人から聞けば勇気になる。また、両親や周りの人に感謝の心をもって「恩」に報いることが人間としての証だと思えます。

【贈りたい相手】

お姉ちゃん

【贈り主】

みゆき

小坂 深幸さん

(青森県・七戸町立榎林中学校 3年生)

この字はお姉ちゃんの名前に使われている字です。この字には、「しるす、記録する」という意味の他にも、「いとぐち、はじまり」という意味もあるそうです。

私はお姉ちゃんのマネばかりして、ソフトボール部に入ったし、栄養士になりたいと思いました。お姉ちゃんは私の「いとぐち、はじまり」になってくれました。

今度は、もっと沢山の人の「いとぐち、はじまり」になってあげて下さい。応援しています。

【贈りたい相手】

両親

【贈り主】

受験を控えたぼく

小森谷 魁人さん

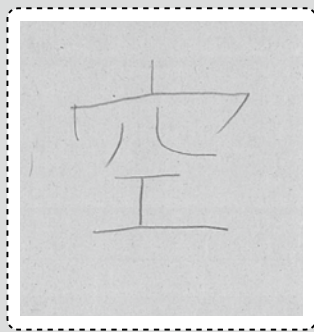
(埼玉県・さいたま市立大原中学校 2年生)

僕の名前にあるこの漢字。小学生の頃は難しい漢字に戸惑いなかなか上手く書けず好きにはなれなかった。しかし父から自分の名前に込めた「さきがけ」つまり、どんなときも先を見据えてしっかりと前を向いて進む。そう、いよいよ義務教育も終わりに近づき自分の将来をしっかりと見据える時がきました。両親の想いがこもったこの名前に恥じないようにぼくはしっかりと前を向いて進学すべき高校に向かって全力でぶつかっていきますのでお父さん、お母さんみててください。

【 中 学 生 部 門 】

佐尾 歩乃佳 さん

(大阪府・吹田市立第三中学校 1年生)



【贈りたい相手】

ひいおじいちゃん

【贈り主】

曾孫

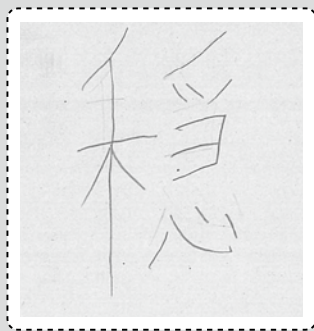
私はこの漢字を選びました。ひいおじいちゃん、元気にしていますか。

私が落ちこんでいる時、私の隣に座って、「空を見てみ。」って言ったのをひいおじいちゃんは覚えていたかな。その時、「空は広い、地球を見ている。だからぜったいおまえのことも見えているよ。」って言うてくれたね。あの時から、いいことがあったり、少し落ちこんだりすると必ず空を見上げるようにしているよ。

ひいおじいちゃんは今、空にいますと思う。だから絶対私から目をはなさないでね。

佐藤 吹生 さん

(群馬県・太田市立生品中学校 1年生)



【贈りたい相手】

じいちゃん

【贈り主】

吹生

小さい頃いつも遊んでくれました。僕が何をしても、あんまり怒りませんでしたね。砂場を作ってくれたり、ブランコを作ってくれたり、ゲームで遊んでくれました。魚釣りも連れて行ってくれました。じいちゃんと遊んでいる時がとても楽しかったです。そんな大好きなじいちゃん。去年、亡くなってしまい、もう一緒に遊べなくなりましたが、今までのように、穏やかに僕たちを見守っていて下さい。じいちゃんの戒名の中の一字に「穂」という文字を入れました。僕が考えた文字です。今年のお盆には僕もお墓に迎えに行きますね。待っていてね。

高木 勝也 さん

(神奈川県・厚木市立睦合中学校 3年生)



【贈りたい相手】

福島の友達

【贈り主】

高木 勝也

三月十一日のあの時までは、同じ中学校へ行くはずだったが、大震災によって離ればなれになってしまいましたね。僕は、神奈川県で、楽しく中学校を、過ごしています。

三月十一日以降は、七月にみんなで卒業式が無事に出きましたね。でも、まだ、他にも、伝えたいことはたくさんありました。まだ、みんなと離れたいと思います。

なので、いつかまた、みんなで集まる機会があれば、いいなあと思いました。いつかあえる日まで、僕は、がんばりたいです。

中里 桜さん

(福岡県・福岡雙葉中学校 3年生)



【贈りたい相手】

小学校の時の先生

【贈り主】

中学生になった私

小学校六年生の頃、私は反抗期真っ最中でした。小学校の時の担任の先生にたくさん迷惑かけました。友だちとよくけんかしました。先生がしていた授業は正直言うところ、あまり覚えていません。だけど、国語のある授業のことは、今でもすごく覚えています。

それは、漢字テストで「愛」という漢字を「愛」と書いてしまったときでした。返却されたテストには「愛には心が必要だよ。」と書いてありました。その時すごく漢字の意味がわかり、今でも「愛」を書く度に思い出します。

私にとっても大切な漢字です。「心が必要」と気づかせてくれた先生にとっても感謝しています。

【 中 学 生 部 門 】

中野 陽菜さん

(埼玉県・さいたま市立浦和中学校 1年生)



【贈りたい相手】

兄

【贈り主】

陽菜

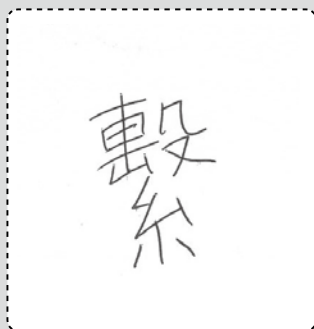
私はいつも兄の行く道を小さい頃からついていきました。そして今も兄は、私の前を歩いていきます。兄が勉強を頑張ると、私も勉強を頑張りました。

この文字は、「物事のはじめとなること。」という意味をもっています。さらに魁という星があり、北斗七星の第一星なのだそうです。

ですから、私は兄にこの文字を贈り、いつまでも私の前を走り、輝いていてほしいです。

古澤 愛子さん

(群馬県・伊勢崎市立殖蓮中学校 2年生)



【贈りたい相手】

おばあちゃん

【贈り主】

古澤 愛子

私は昔からおばあちゃん子で毎週のようにあそびにいていました。歩くときには、いつも祖母が手をつないでくれて、とてもうれしかった事をいまでも覚えていてます。

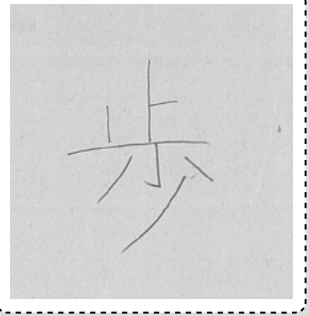
祖母の手は、やわらかくて、あったかくて、大好きでした。ですがもう高齢者になり、元々足が悪かった祖母は、支えなしでは歩けなくなっていました。

だから今度は私が祖母の手をつなぐ番です。昔にくらべしわしわになってしまったけれど、あったかいは昔とかわっていません。祖母のやさしさがいっぱいつまった手はいまでも大好きです。

なのでこの漢字を贈ります。おばあちゃん。いつまでも元気でね。

安田 滯冬さん

(大阪府・吹田市立第三中学校 2年生)



【贈りたい相手】

妹

【贈り主】

滯冬

障害者として生きている妹は、これから先たくさんの苦痛が待っていることでしょう。

でも、夢を持って支えてくれる友達を持って信じて愛しいと想える相手を見付け、可能性を信じてゆつくりで良い、立ち止まっても良いので一歩ずつ歩いて下さい。

今、そんな気持ちをこめ「歩」って漢字を大切な妹に送ります。

若山 奈央さん

(岡山県・金光学園 2年生)



【贈りたい相手】

いつも頑張っている母

【贈り主】

心の奥の私

いつもありがとう。おばあちゃんが大変な時も、私や家族の家事をがんばってくれてお母さんも大変だと思えます。休む暇もないでしょう。けれど、休む時は日なたではなく、日影で休んでください。その影は私になります。身の周りのことも手伝うし、支えてあげます。このことは口先だけにはならず、実行します。だから、大変な時は私の影で休んでください。

高
校
生
部
門



【 高 校 生 部 門 】

伊藤 佳乃子 さん

(高知県・高知工業高等専門学校 2 年生)



【贈りたい相手】

おかあさん

【贈り主】

かのこ

私はお母さんの作ってくれるごはんが大好きです。おいしいだけじゃなくて、意識して野菜をたくさん使ってくれたり、健康にも気をつかってくれていてすごくありがたいです。

私は寮生活を送っていますが、たまに帰省したときにお母さんの手料理を食べると涙が出そうになります。誇張なんかではなく、

ある本によると、「和」とはもともと「食べる」意味だったそうです。成り立ちには諸説ありますが、「禾」は穀物、「口」は口を表していて、『皆が食事をとり家が平和な気分を満たされる』のうちの和みの時間ではないでしょうか。

仕事に疲れたお父さんも、育ち盛りの弟も、家族みんなを笑顔にしてくれる、伊藤家の「和」は間違いなくお母さんの手料理のおかげです。ありがとう。いつか私もそんな料理をお母さんに作ってあげたいなって思ってます。

稲毛 智英 さん

(宮城県・宮城県仙台東高等学校 3 年生)



【贈りたい相手】

のんちゃん

【贈り主】

ちえ

この漢字に三つの意味を込めます。

一つめ、高校生活、のんちゃんは私の支えでした！おもしろくて、集中力もすごい、気のとても合う、尊敬できる友達です。出会えて良かった！ありがとう！

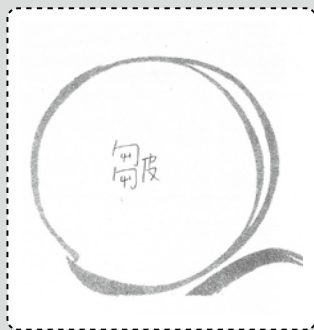
二つめ、「支」には「枝分かれ」という意味があります。私たちが卒業して皆バラバラになることと似ています。それでも私は支えてもらった分、友達としてののんちゃんをこれからも支えられる友達になりたいです。だから離れていても、困ったときは頼ってね。

最後の三つめ、三年生になってからはいつも進路の話をしたね。大学でたくさん学んで、これからお互いに成長し合っていけたらいいな。そして将来、私たちが日本を、世界を支える人になろうね。

【 高 校 生 部 門 】

大山 結嘉さん

(青森県・八戸聖ウルスラ学院高等学校 3年生)



【贈りたい相手】

おばあちゃん

【贈り主】

ゆうか

おばあちゃんの顔にある皺は、とつても深くて濃
い。その深さは人生の深さで濃さは人生の濃さ。お
ばあちゃんの人生は深くて濃いから私はその皺を誇
らしく思うけど、おばあちゃんは嫌う。化粧をして
皺をかくすけど、私は深くて濃い皺が好き。
だからいつまでも、ありのままの素敵な皺のおば
あちゃんであってください。

影山 佳奈子さん

(北海道・北海道帯広南商業高等学校 3年生)



【贈りたい相手】

両親

【贈り主】

娘

もう一人で何でも出来るつもりでいました。でも
それは大きな間違いでした。親元を離れて進学し、
初めて両親の存在の大きさに気付くことができまし
た。きつと二人の支えがなければ、私はすぐに諦め
たり逃げていたでしょう。電話越しでも伝わってく
る温かい言葉に何度も励まされました。
本当にありがとう。
今度は私が二人を支えられるようになりたいです。

河村 萌乃 さん

(山口県・山口県立岩国商業高等学校 3年生)



【贈りたい相手】

弟

【贈り主】

姉

弟は脳しゅゆの摘出手術という大きな手術を小学生で二度も経験しました。大好きなサッカーはもうできないとまで言われました。

ですが弟は大好きなサッカーをするためにひたすら努力し、中学生になった今サッカー部に所属し、駅伝選手にも選ばれるなど、大活躍をしています。

そして、入院中のリハビリでお世話になった理学療法士さんにあこがれ、自分も理学療法士になるという夢を持っています。その夢をきいた時、病気に打ち勝って夢を見つけた弟をとても誇りに思いました。尊敬できる弟をもった私は幸せです。

小此内 寧々 さん

(千葉県・テモテ・グローバル・アカデミー高等科 1年生)



【贈りたい相手】

いわきの友達

【贈り主】

ねね

久しぶり！覚えてる？ねねだよ。あのキャンプのときからずっと会ってないけど、いわきはどうなってるの？千葉に住んでいる私には、これっぽっちもみんなの大変さが分からない。でも、「あれ(地震)がねがたら、ねねちゃんには会えねがった」って言ってくれてありがとう。本当に嬉しかった。

それでね、会えないかわりに、千葉から「福」を贈ります。福島の福、祝福の福。いい漢字だね。どうか、福島が、その名のおり、「福島」となりますように。

【 高 校 生 部 門 】

近藤 りなさん

(山口県・下関短期大学付属高等学校 3年生)

【贈りたい相手】

松尾 妃七菜

【贈り主】

近藤 りな

あなたは今、頑張っていますか。私はあなたと交わした約束をいつも心に秘めながら頑張っています。人生の一部であるバレエが私達二人の出会いきっかけでしたね。出会えた事に感謝して、これから先もずっとあなたと友達だと約束をします。高校生活もお互い残りわずかですが、最後の春高予選で敵同士、命がけの真剣勝負を必ずしましう。約束です。

財津 仁美さん

(福岡県・北九州市立高等学校 3年生)

【贈りたい相手】

お父さん

【贈り主】

財津 仁美

お父さんとお母さんが離婚して、三年がすぎたね。お父さんといっしょにすごしたのは十四年間くらいだったけど、笑いあったり怒ってくれたり、そして大きな背中からたくさんのお話を教えてもらえたよ。そして、私の生きる道をつくってくれた。お互い道の途中で離婚という場所を通ったけど、これからも自分自身の道を、しっかりと歩んでいこうね。走らなくていいから、たくさんのお話を聞こうね。

【贈りたい相手】

遠くの心友

【贈り主】

可奈子

佐藤 可奈子 さん

(宮城県・宮城県志津川高等学校(アビバキッズ志津川教室) 1年生)

あなたは震災のせいで遠くに引越してしまった。

私にとってあなたはたった一つの光、あの時のろ

うそくの灯かりを思い出し、「頑張ろう」って話した

あの夜があったから、今の私が居る。

今あなたにこの漢字を贈ります。一緒に泣いた仲

なのに大切な言葉をまだあなたに伝えていない。今

この場を借りて言わせてください。

「ありがとう」。

【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

舞

三野宮 舞 さん

(北海道・北海道室蘭清水丘高等学校 3年生)

家に居るときのお母さんは少し天然で、我が家

の「ムードメーカー」な存在で家族みんなを笑顔にして

くれるね。でも仕事中は、顔つきががらりと変わる。

看護師のお母さん。ミーティング中の顔はすごく真剣

で、ちょっとこわい。

でも患者と接しているとき、先輩の指導をしている

ときのお母さんはかっこよくて、いつのまにか将来の

夢が「看護師」になっていた。お母さんは舞の目標です。

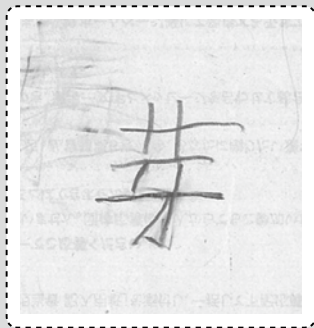
いつか看護師になってお母さんを越えてみせるから

待っててね!!!

【 高 校 生 部 門 】

菅原 沙英さん

(宮崎県・宮崎県立赤江まつばら支援学校 2年生)



【贈りたい相手】

永野先生

【贈り主】

菅原 沙英

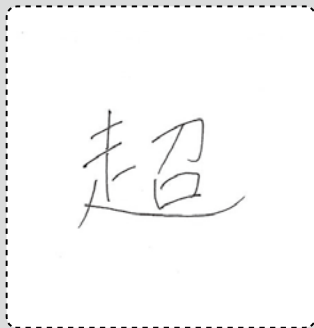
永野先生へ、先生と出会って約半年。先生の色々な事を知り、色々な事を体験しました。先生の苦手なことや得意なこと、将来の目標などをお話していると、とても楽しいです。

行事や私の介助などを通して心をかよわせ一緒に成長していったらと思います。先生に対してのイメージと私の願いをこめました。

先生を見ていると草木の芽吹きを想像します。これからも宜しく願います。

田中 瑞生さん

(青森県・八戸聖ウルスラ学院高等学校 3年生)



【贈りたい相手】

美紀子

【贈り主】

瑞生

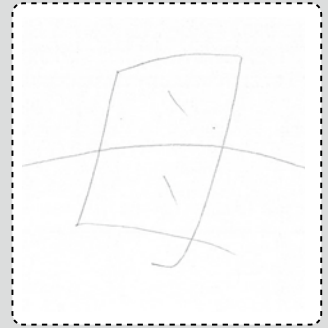
一人で私を育ててくれて、いつも味方でいてくれる。母のようになりたくて剣道を始めた。料理をあまりしないから料理なら勝てると思つて祖母に教えてもらつて作り始めた。高校時代成績があがったんだよと言われてくやくして勉強をし始めた。

なにかを始めるとききっかけをくれるのはいつも母だった。今なら剣道も、料理の種類も勉強も勝っていると思う。でもいつも笑っていて私の前では絶対泣かない。私のために体を張つて応援してくれる。一人の母としてはまだまだ勝てないと思う。

だから母を将来必ず超えるから、挑戦状として手紙をおくります。(笑)

常藤 由紀さん

(福岡県・純真高等学校2年生)



【贈りたい相手】

おばあちゃん

【贈り主】

孫娘ゆき

私は小学生のときに祖父母に引きとられ、生活してきました。祖父は私が高校一年生のときに亡くなり、今はおばあちゃんと二人で暮らしています。家に入ってくるお金はあまりないですが、そんな中でも、看護師になりたいという私のわがままを受け入れてくれて、今、私立の看護料がある学校へ通うことができます。

「何でも自分でできるようになりたい」とよく言われたり、あまりほめてくれたりする人ではないですが、それも愛情だと思っています。

私にとっておばあちゃんは“お母さん”です。いつもありがとう!!これからも私のお母さんでいてね。

新山 千尋さん

(大阪府・大阪府立門真なみはや高等学校1年生)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

千尋

お母さんの瞳は今までの私を映してきた全てだと思います。どんなに口で怒っていても全部私のためだということくらい私だつて瞳を見ればわかります。

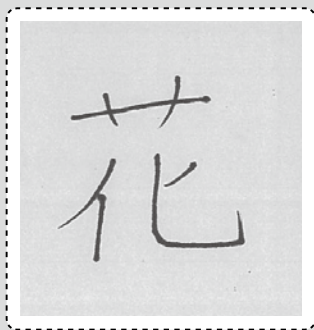
お母さんの瞳は誰よりも優しく、遅くそして、愛がつまっています。私のお母さんは、他の誰よりも尊敬できるお母さんです。私もお母さんのようになれたらと常々思います。

いつもありがとう。大好きです。

【 高 校 生 部 門 】

原田 優唯 さん

(和歌山県・和歌山市立和歌山高等学校 2年生)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

優唯

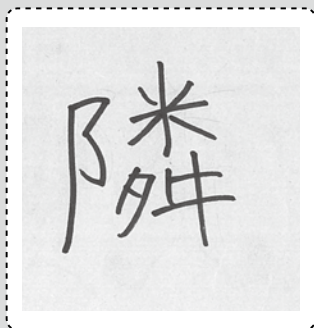
母の日に花を贈ろうとしても、「花は好きやけど
どんなに世話をしても枯れてしまうからいらない」
と言うお母さんにこの漢字を贈ります。

枯れることのない「花」という漢字を贈ることで
日頃の感謝の気持ちが伝わればいいなと思います。

いつもありがとう。

古川 あづさ さん

(福島県・福島県立若松商業高等学校 2年生)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

あづさ

お母さんが私たちを守ろうとしてくれているのは
伝わってくるし、それは嬉しくて温かい。けれど私
は、守られるだけの自分は嫌なんだ。

私は、お母さんの隣に立ちたい。今はまだ、立て
るほど強くないけれど、いつか必ず、お母さんが
安心して隣を任せられる私になってみせるから。頑
張るから。だから覚悟して待っててよね、お母さん。

古田 有里奈 さん

(徳島県・徳島県立辻高等学校 2年生)

「一日一日」を、「一秒一秒」を、「一瞬一瞬」を、自分のことよりも私たち子どもたちのことを一番考えてくれてありがとう。私にとつて世界で一番のたった一人のお母さんです。行つてきますは言えないけど、毎日帰つてからお母さんの「おかえり」の一言で心がとつてもほつとします。

今はまだお母さんからもらつてばかりだけど、私も自立したら一つ一つ返していくね。それまであと一年ちよつと。長いようで短い期間ですが、一生懸命頑張るので、よろしくお願ひします。



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

娘

村上 美宮 さん

(大阪府・大阪市立南高等学校 1年生)

緊張と照れがあり、直接言ったことはありませんでしたが、私は桂先生の授業を受けてから、いつか必ず先生と同じ場所、同じ立場で仕事がしたいと思ふようになりました。そして、この夢を叶えることが出来た時には、先生に私の成長した姿を見て頂きたいです。

だからどうか、私の勝手な願ひですが、憧れ続けるその場所で、どうか、待つていてください。



【贈りたい相手】

桂先生

【贈り主】

村上 美宮

【 高 校 生 部 門 】

翔

【贈りたい相手】

お姉ちゃん

【贈り主】

妹

吉田 奈未さん

(北海道・北海道室蘭清水丘高等学校3年生)

私にないものをたくさん持っていて、いつもキラキラしている私の自慢のお姉ちゃん。実は自信に満ち溢れているお姉ちゃんのことを懂れていることは私だけの秘密の話。

だから、いつも一緒にいたお姉ちゃんが沖繩で一人暮らしをすることが決まって悲しかったんだ。最初はなんとも思わなかったけど、一人になるとやっぱり寂しくなっちゃうんだよね。でもお姉ちゃんが決めたことだから、やりたいことを最後まで悔いの残らないようやって欲しい。

そんなお姉ちゃんにぴったりの「天空を飛び走る」という意味の「翔」を贈ります!! 私はずっと応援してるから、だからお姉ちゃんはどこまでも自由にはばたいてください。

お姉ちゃんならやれると信じてるよ。だって私の自慢のお姉ちゃんだもんね♪

耕

【贈りたい相手】

おじいちゃん

【贈り主】

ゆうか

和野 友香さん

(北海道・北海道室蘭清水丘高等学校3年生)

「耕」という漢字には、田畑の土を掘り返し農作するという意味や、怠けず働くという意味があります。どちらも、二十ヘクタールの土地で米やとうもろこしなどの野菜を育て、毎日朝から晩まで農業に励む祖父にぴったりだと思います。

北海道でも七十五歳を過ぎてもまだ仕事をしているという人は少なく、歳をとって痛い所があっても他人にはそのような素振りを見せずに、明るく元気に仕事をしている祖父を私は尊敬します。

これからも祖母と二人で仲良く、体を大切に、人を笑顔にする米や野菜を作り続けて下さい。

一
般
部
門



【 一 般 部 門 】

荒井 陽子 さん

(神奈川県・主婦 54才)



【贈りたい相手】

お母さん

【贈り主】

陽子

私たち家族に綿入れを何枚も縫ってくれたお母さん。私が乳飲み子のとき、手作りのねんねこや亀の子でおんぶしてくれたのですよね。かわいいちゃんちゃんこを着ている写真もありますね。

懐かしいのは、はんでんです。寒い冬の朝、ふかふかのはんてんがあったかくて、日だまりにいるようでした。あの綿入れはお母さんのぬくもりだったのですね。

池内 春美 さん

(山口県・接客業 33才)

願

【贈りたい相手】

息子

【贈り主】

お母さん

中学受験についてどこで知ったのか小学三年生の頃から興味があったね。あれから三年が過ぎ、本気で目指す中学校を自分で決めたね。

先日、先生に聞きました。「息子さんがどうして受験したいかご存知ですか？一生懸命勉強して将来親孝行したいからだそうです。」

ありがとうございます。親孝行はもうしてもらっています。どうか来春、あなたが自分の為に笑えますように。心から願っています。

幸

【贈りたい相手】

さとちゃん

【贈り主】

母

伊藤 典子 さん

(青森県・主婦 57才)

小さい頃、さぼちゃんとかしゃぼちゃんと言ってからかっていたさとちゃんがあと二ヶ月でお嫁に行ってしまうですね。結婚が決まり、だんだん色んな事が決まるにつれお母さんは何だか寂しくてしょうがありません。こんな気持ちになるとは思ってもみませんでした。

色んな言葉を探したのですが、やはりありきたりですが幸せになつてね、さとちゃん。

手

【贈りたい相手】

娘

【贈り主】

母

稲濱 佑美 さん

(兵庫県・主婦 26才)

初めて会った時、あまりのあなたの小ささにビツクリしました。「おぎゃあおぎゃあ」と聞きながらも、まだ実感は無かったけど、抱き締めると大きくなる泣き声。そして指を差し出すと手のひらいっぱい握り返すあなたの力強さに、生きてるんだなあ喜びがあふれましたよ。

お母さんが大好きで大きくなるまでずっと手をつないでいた私の手。次は、あなたとつないでいけることが本当に嬉しいです。生まれて来てくれて、ありがとう。

【 一 般 部 門 】

娘

【贈りたい相手】

詩織さん

【贈り主】

嫁自慢の姑

大谷 峯代さん

(徳島県・主婦 71才)

遅い結婚で心配をさせた息子の所に来てくれた待望の「お嫁さん」のあなた。そして、あなたの名前が、私がまだ少女の頃、「将来娘が産まれたら付けたいなあ」と夢見ていたけれど、恵まれたのは息子ばかり、ずっと心にしまっただまになっただまに名前を付けた。

「娘」がやって来たと思えました。心やさしくて朗らかなあなたとずっと仲良くして行きたいです。

頼

【贈りたい相手】

母

【贈り主】

娘

岡本 浩子さん

(愛知県・主婦 49才)

いつも一人で頑張ってきた母が七十歳を過ぎて病気になる、いつもの強気の発言がだんだん無くなってきた今日この頃やっと私の出番がやってきました。そろそろ強がるのをやめて娘に頼ってください。頼りないかもしれないけどちょっとは役に立つと思うので心も体も大きくなった私にどうぞ寄りかかってください。

虹

【贈りたい相手】

おじいちゃん

【贈り主】

成子

岡本 成子 さん

(新潟県・小学校教員 58才)

おばあちゃんが亡くなった早朝に大きな美しい虹がかかったのよ。私にはおばあちゃんが虹を渡って昇天していったように思えたよ。そして虹がだんだん消えていくのを見て「ああ、おばあちゃんは本当に死んじゃった」と思ったよ。

でもしばらくして、また大きな虹がかかったの。一緒に故郷の葬儀場に帰りがかったんだね。だから雨が降った後ベッドの上から窓をながめてね、大きな虹がかかっていたら天からおばあちゃんが戻ってきているからね。おじいちゃんが心配だから！

生

【贈りたい相手】

親友 ちい

【贈り主】

せのこ

岡本 嘉子 さん

(兵庫県・看護師 41才)

阪神・淡路大震災を受けたあの朝、マンションの下敷きになったちいを、大勢の人が力を尽くして救い出してくれたね。なすすべもなく呆然と立ちつくし、「ちい。」と死に物狂いで呼び掛ける私に、かすかながら聞こえた「せのちゃん。」の返事。

生きています。ありがとう。生きていてくれてありがとう。それだけでいい。心から感謝します。

【 一 般 部 門 】

傍

【贈りたい相手】

母

【贈り主】

娘

金岡 たか子さん

(広島県・公務員 57才)

「たか子はどこ行っただん?」「ここにおるよ。」

傍で介護していても、母はもう、私が娘であることを思い出さない。何を話しかけても返ってくるのはちんぷんかんぷんの答えばかり。

でも、あなたが私の傍に存在してくれているだけで、ありがとう。近い将来の別れを想うとき、今、あなたの傍にいられるこの時間を、私の心に刻んでおこう。

心

【贈りたい相手】

2歳になったきみ

【贈り主】

新米お母さん

黒川 絵理さん

(長崎県・主婦 35才)

両手で抱きしめるとすっぽり隠れてしまうくらい小さいのに、君は涙の意味がわかるんですね。首をかしげながら、私の頭をなでてくれましたね。人の感情を一生懸命理解し、自分の気持ちを伝えようとしてくれます。

そんな優しさ、人を思いやる心を、大きくなっても忘れないでね。

綾

【贈りたい相手】

けいいち

【贈り主】

おんちゃん

佐治 司さん

(滋賀県・会社員 34才)

これは君の好きなアップルパイのミアミみたいな模様です。縦と横、色々な糸で出来ています。

君が大きくなるにつれ、色々な人の想い、かかわりがあるでしょう。パパ・ママ・お爺さん・お婆さん・お友達・周りの大人達……。そんな大切な仲間たちのいろんな糸で出来た模様。君を温め、援け、背中を押してくれるでしょう。

そして君もまたそんな糸の一本になってくれることを願っています。

家

【贈りたい相手】

息子

【贈り主】

母

竹田 いづみさん

(埼玉県・主婦 27才)

幼稚園に行き始めて、社会への第一歩を踏み出しました。

これからどんなことがあっても、「家族」がいて、帰る「家」があります。

お父さんもお母さんも、君を突き放すこともあると思います。君が出ていくこともあると思います。

それでも、お父さんとお母さんは必ず同じところに帰ります。君は好きに生きてください。

【 一般部門 】

田代 隆士 さん

(宮崎県・広告美術業 71才)



【贈りたい相手】

愛する凛ちゃん

【贈り主】

隆士おじいちゃん

君は中学三年生十五歳、私の可愛い孫娘。気付かずに訪れた思春期の自分と懸命に闘っている。

自分が唯一正しいと必死に身構え苛立っている君。だけど完璧な人間なんて存在しない。思い通りに生きられないのが人生。そんな理など今は考える気など起きないよね。

今は唯、直面する青春の喜怒哀楽を精一杯味わいなさい。君に贈りたい言葉「今を闘う」。生きるって、一生自分との闘い。君の闘いの結果が君の人生。全ては自分の所為だけど、家族は君を支え信じているよ。

谷本 良裕 さん

(徳島県・教員 57才)



【贈りたい相手】

妻

【贈り主】

不肖の夫

いつも明るく家族にも優しい妻。そんな妻が大病と闘っている。三十年間の結婚生活のストレスが原因であることは否めない。

今、あなたを思うとき「命」という漢字以外は思いつかない。病気の「因」である不肖の夫ですが、あなたの「命」と伴走させてください。どうか私より長命であってください。

櫂

【贈りたい相手】

妻

【贈り主】

夫

村竹 繁さん

(新潟県・公務員 36才)

あなたは、私(舟)の「櫂」(オール)です。私が、私らしい海路を、私らしく漕いでゆけるのも、いつも側にいて、漕いでくれるからです。時には大変な航海(後悔)もある(あった)でしょうが、信じて付いてきてくれましたね。これまでの後悔に感謝します。これからも、どうぞよろしくお願いします。

結

【贈りたい相手】

旦那さま

【贈り主】

妻

村山 初美さん

(沖縄県・ピアノ講師 32才)

あなたと結ばれて、幸せを感じるが増えました。あなたと結ばれて、あなたの家族と家族になりました。あなたと結ばれて、私の家族にも笑顔が増えました。そして、あなたと結ばれて、新しい家族がもうすぐ生まれます。どんなに言っても足りないぐらい、あなたと結ばれたことに感謝しています。ありがとうございます。これからもよろしくね。

【 一 般 部 門 】

盾

【贈りたい相手】

亡き父

【贈り主】

娘

八木 伴江 さん

(東京都・専業主婦 54才)

幼少の頃から盾となり、私を守ってくれた父。身の危険、心無い言葉、私が傷つかないよう全力で守る、それはそれは大きな盾でした。

思春期に桶突いた時期もありましたが、思えば父は、私がいくつになっても、自分が亡くなるまで娘を守る、強い、自慢の父でした。

大きな背中忘れません。ありがとう、お父さん。

速

【贈りたい相手】

あなた

【贈り主】

妻

渡辺 多香子 さん

(東京都・主婦 61才)

この速(つれあい)って、誰が考えたんだろう。ミ(しんにゅう)は差し詰め、人生のレール。その上をお互い求め合って、ココロコ、ココロコ。

結婚して三十六年。まあるくなつて、これからも、共に歩いていきましょう。よろしくお願い致します。お父さん！

志

【贈りたい相手】

はるか

【贈り主】

じいじ

渡邊 忠春 さん

(大阪府・無職 85才)

アフリカの僻地で、單身ボランティアに明け暮れているお前に、最もふさわしい言葉として「志」の一字を贈りたい。「志」とは目標に向かう心を云うとあるが、青春の只中にあるお前が敢えて選んだ奉仕の思いこそがまさに「志」と云えるものであろう。その道は険しくとも揺るぎないお前の強さを爺(じいじ)は知っている。そんなお前をどれ程いとおしくそして誇りに思っていることか。

じいじはいつの日か、お前が「志」を遂げて帰国する日を祈りながら待っている。

孝

【贈りたい相手】

教え子

【贈り主】

担任

渡会 克男 さん

(千葉県・教員 63才)

卒業式に茶髪、派手派手の特攻服で現れた君。『許して下さい親不孝 迷惑かけてすみません 父さん 母さん ありがとう』

—— 金糸で刺繍された文言。

僕は卒業証書に添えて、君にこの漢字を贈るよ。

家族

家族へ

迎 P14 彩 P44

恩 P82

両親へ

望 P24 陽 P67 咲 P71

立 P72 仁 P72 支 P74、P90

歩 P78 魁 P83

祖母へ

手 P12 彩 P22 花 P38

星 P67 繫 P86 皺 P90

母 P95 【祖母の兄へ】 命 P34

友人、仲間

恋人へ

傘 P26

仲間へ

一 P42 繫 P46、P82

家 P69 虹 P79

きょうだいへ

笑 P28 旦 P58

選 P69 歩 P75、P87

輝 P78 正 P81

紀 P83 魁 P86

誇 P91 翔 P98

夫・妻へ

進 P62 命 P106

權 P107 結 P107

迷 P108

友人へ

菜 P36 字 P52

想 P71 集 P85

支 P89 福 P91

盟 P92 燭 P93

生 P103

母へ

背 P16 諦 P54

人 P68 挑 P73

認 P74 手 P75

鳥 P76 虫 P80

影 P87 和 P89

標 P93 超 P94

瞳 P95 花 P96

隣 P96 一 P97

綿 P100 頼 P102

傍 P104

子ども・孫へ

安 P18 怨 P60

願 P100 幸 P101

手 P101 娘 P102

心 P104 綾 P105

家 P105 闘 P106

志 P109

祖父・曾祖父へ

耳 P68 空 P84

穏 P84 耕 P98

虹 P103

父へ

心 P70

魂 P70

手 P76

日 P80

晴 P81

道 P92

盾 P108

私からアナタへ
贈った人別索引

私

恩師、恩人

先生へ

墾 P50 読 P73

愛 P85 芽 P94


待 P97

教え子へ

孝 P109

恩人へ

良 P79



「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」
2013年度 受賞作品集


2014年 9月21日 第1版第1刷発行

編者 公益財団法人日本漢字能力検定協会
発行者 高坂 節三
印刷所 大日本印刷株式会社
発行所 公益財団法人日本漢字能力検定協会
(住所) 〒600 - 8585
京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町 398
(TEL) 075 - 352 - 8300
(FAX) 075 - 352 - 8310
(ホームページ URL) <http://www.kanken.or.jp>

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

「漢検」は登録商標です。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。



あなたへ



わたしより

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」
2013年度受賞作品集

「漢検」は登録商標です。